

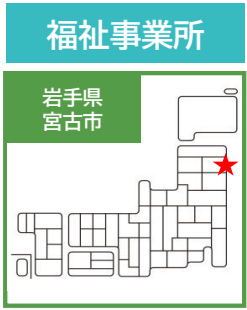
# 水福連携事例集 (令和7年度版)

令和8年4月

水産庁漁政部企画課 労働安全・デジタル班

# 就労継続支援B型事業所 ジョブ・パートナー山田(岩手県山田町)

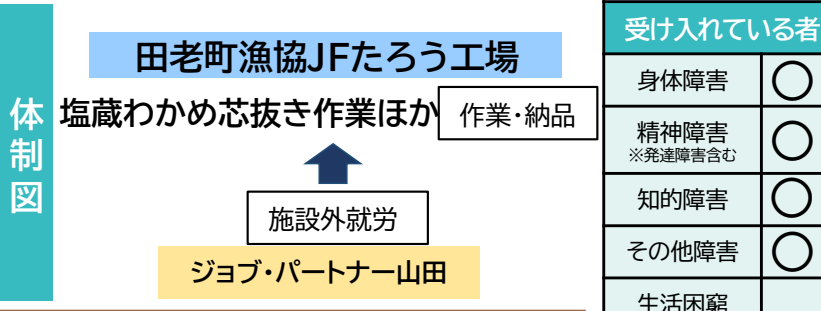
三陸特産のわかめの芯抜き作業等を実施。東日本大震災後、加速化した人手不足を福祉の力で支援し、岩手県沿岸部の基幹産業である水産業のなりわいの再生を後押し。



## 基本情報

設立:H31年/水福連携取組開始:R1年

**概要**  
**主力商品**  
 塩蔵わかめ(田老町漁協商品)  
**特徴的な取組**  
 施設外就労として、わかめ原料袋詰め、わかめ芯取り、工場内清掃を実施



住所:岩手県下閉伊郡山田町飯岡7-11  
 TEL:0193-77-3163  
 Mail:jobpartner.yamada@gmail.com

受け入れている者	
身体障害	○
精神障害 ※発達障害含む	○
知的障害	○
その他障害	○
生活困窮	
ひきこもり	
高齢者	
その他	

## きっかけ

**R1年**  
 岩手県で水産加工・障害福祉マッチング事業を実施し、水産加工・福祉連携コーディネーターを配置。コーディネーターの支援により、水産加工業者との連携に取り組んだ。

## 取組

- 人を耕す**
  - 施設外就労であり、施設利用者(障害者)の気分転換や作業のやる気につながっている。
  - 作業を繰り返すことにより、熟練度が増し、自ら作業を工夫するなど、施設利用者の自立につながっている。
- 地域を耕す**
  - 人手不足が課題である地域の水産加工業者にとって大きな戦力となっており、地域にとって欠かせない存在になっている。
  - 工場では健常者に混ざって作業を行っており、地域との交流も生まれている。
- 未来を耕す**
  - 取り組みの展開により、事業者の意識変革を促し、福祉の可能性を広げ、ノーマライゼーションの実現を目指す。
  - 今後も継続して取り組み、地域産業を構成する一員として責任を果たしていく。

## 成果

就労延べ日数	就労延べ人数	水産加工等に関わる障害者数
74日(R5) →106日(R6)	243人(R5) →424人(R6)	10人(R5) →16人(R6)



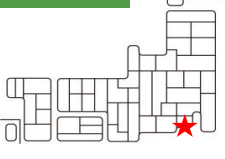
- 作業に参加している利用者は、真崎わかめのブランド商品の生産活動に関わっていることを誇りに思い、自信に大きくつながっている。
- 岩手県農福連携応援マークを活用し、消費者に商品をPRするとともに、福祉との連携の取り組みを普及啓発。
- 健常者の従業員等との交流が増加したことにより、利用者とのつながる機会を創出。

# 社会福祉法人湘南の風 新葉山はばたき 及び 就労継続支援B型事業所 STYLE (神奈川県葉山町)

手間のかかるひじきのごみ取り作業を福祉事業所が請け負うことで、漁業者の負担軽減と福祉事業所の日々の活動の充実を実現。

福祉事業所

神奈川県  
葉山町



きっかけ

R5年

神奈川県で水福連携の推進事業を実施する中で、葉山町漁協(現・湘南漁協葉山支所)からひじき細かいごみ取り作業が大変なので人手があると助かるとの話が寄せられ、開始。

人を耕す

- 施設内でできる作業であるため、外出が難しい障害者でも作業に参加でき、日々の活動の充実につながっている。
- 福祉事業所のスタッフが作業の準備をする前に施設利用者(障害者)が率先して準備し作業を始めるなど、意欲的、主体的な取組が行われている。

地域を耕す

- これまで漁師が天気の悪い日や夜間など、仕事の合間に行っていた作業を障害者に担ってもらうことで、漁業者の負担軽減につながっている。また、漁業者がより生産的な作業に従事できるようになり、地域の漁業活性化につながっている。
- 海の作業に福祉事業所や障害者が興味を持つことで、地域の交流や活性化に寄与している。

未来を耕す

- 水産業と福祉の特性を活かした持続可能な体制づくりについて、関係者が話し合うなど、地域で考える契機となっている。
- 水産業と福祉がつながることで、障害者と共生できる地域社会の実現につながっている。

取組

成果

## 基本情報

新葉山はばたき 設立:H6年/水福連携取組開始:R5年  
STYLE 設立:R3年/水福連携取組開始:R6年

主力商品  
(水産加工品)乾燥ひじき

### 特徴的な取組

新葉山はばたき:細かな作業が得意。  
STYLE:施設外、施設内就労に対応できる。

概要

体制図

湘南漁業協同組合葉山支所 漁師

ひじき漁・干す ↓ ↑ 納品

乾燥ひじき

ごみ取り・シール貼り・袋詰め

新葉山はばたき

STYLE

湘南の風 新葉山はばたき 住所:神奈川県三浦郡葉山町堀内1363-1 TEL:046-854-4110  
SY' Style(株) STYLE 住所:神奈川県三浦郡葉山町堀内626-6 TEL:046-876-1195

受け入れている者

身体障害	✓
精神障害 ※発達障害含む	✓
知的障害	✓
その他障害	✓
生活困窮	
ひきこもり	
高齢者	
その他	

※その他障害については、新葉山はばたきのみ実績

就労延べ人数

0人(R5当初)  
→150人(R5・6計)

就労実人数

0人(R5当初)  
→16人(R5・6計)

延べ日数

0日(R5当初)  
→145日(R5・6計)

—

成果

- 成果物の品質については、漁業者が行うレベルと遜色ないとの評価をいただいている。また、作業を繰り返す中で作業スピードも向上している。
- 本事例をモデルケースとして、県内の他の地域でもひじきのごみ取り作業の水福連携が生まれている。
- 他の自治体等からの視察を受け入れることで、県の枠を超え、他県での取組の参考としても役割を果たしている。

視察受入れ:要相談 / 報道機関受入れ:要相談

更新年度:R8.1

# 就労継続支援B型事業所 グランズ平塚 及び クオケア (神奈川県平塚市)

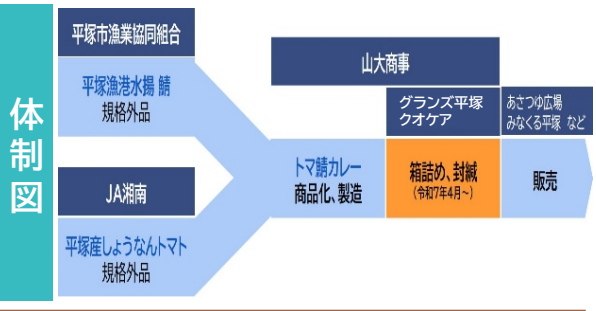
市場に出ない鯖(サバ)と規格外品のトマトを活用したレトルトカレー(トマ鯖カレー)の生産過程で、福祉事業所が箱の組立てと箱詰め作業を請け負い、工賃向上と社会貢献を実現。



## 基本情報

設立: グランズ平塚 R4年度、クオケア R5年度  
 水福連携取組開始: 双方ともR5年度  
 トマ鯖カレー取組: 双方ともR7年度

**概要**  
**主力商品**  
 (水産加工品)トマ鯖カレー  
**特徴的な取組**  
 グランズ平塚: 施設外就労に積極的、農福連携  
 クオケア: 手先を使った細かい作業が得意



(株)浦川屋 グランズ平塚 住所: 神奈川県平塚市明石町9-2 TEL: 0463-20-9238  
 ビースマート(株)クオケア 住所: 神奈川県平塚市明石町21-6 TEL: 0463-74-4836

受け入れている者	
身体障害	
精神障害 ※発達障害含む	✓
知的障害	✓
その他障害	
生活困窮	
ひきこもり	
高齢者	
その他	

## きっかけ

**R5年**  
 平塚市漁協の紹介で魚市場と福祉事業所との間で水福連携(魚の袋詰め、トレーの洗浄等)が成立したことを踏まえ、新商品のトマ鯖カレーでも連携できないかが検討された。

## 人を耕す

- シール貼り等の単純作業から始めたが、作業品質を認められ、外観品質が厳しい化粧外箱の組立てまで任せられ、「箱作りはプロレベル」と言われるまでになった。
- 加工事業者(山大商事株式会社)側は福祉事業所の作業の進捗に配慮し、福祉事業所側は加工事業者からの急な受注増にも対応するなど、当事者が相互に助け合う関係性になっている。
- 付帯作業(不要シールはがしや廃棄処分)の正確さも認められ、工賃アップにつながった。

## 取組

- トマ鯖カレーの生産販売への関与を通じた地域貢献。
- 市場に出ない水産物や規格外の農産物を活用することで、食材ロスの解消や地産地消、生産者の収益向上を促進。
- 加工事業者の高齢化に伴う人手不足を補うことで生産性改善につながった。

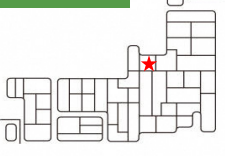
## 未来を耕す

- トマ鯖カレーについてはR7年4月にイベントを開き、新聞等に記事掲載。
- 水産業、農業、加工業と福祉事業が各々の特性を活かした連携商品のモデルを実現。
- 水産加工業においても水福連携が課題解決の一つの解となることが示された。

就労延べ人数	就労実人数	延べ日数	—
0人(R7当初) →451人(R7.4~11 累計)	0人(R7当初) →48人(R7.4~11 累計)	0日(R7当初) →140日(R7.4~11 累計)	

## 成果

- 今まで加工事業者の従業員が合間に行っていた作業を福祉事業所に任せることで、従業員の作業の効率化や勤務時間の短縮につながった。
- 加工事業者からは、健常者の社員よりも集中して働いてくれて、できる人はスピードも速いため、業務効率の改善につながっているとの評価を得ている。
- 連携先の加工事業者で水福連携や障害者への理解が深まり、同社において障害者の採用が進展。



就労継続支援A型事業所と連携し、白えびの殻むきやほたるいかの目玉取りなどの作業を実施。利用者は、富山県の水産業の振興・発展に役立っていることを実感でき、働く意欲や誇りの向上につながっている。

きっかけ

R4年

就労継続支援A型事業所からの提案が直接的なきっかけ。人口減少が進む中、重要課題である「水産業担い手不足」と「障害者就労機会創出」の結びつけは有益だと判断し、取組開始。

人を耕す

- 作業現場には、福祉関係の業務経験がある社員を配置し、随時コミュニケーションをとることができる環境を整備した。
- 利用者専用の休憩スペースを設け、働きやすい環境を整備した。あわせて、作業中に体調不良となった場合に速やかに横になって休養できるスペースも確保した。

地域を耕す

- 大手企業と連携して、白えびの殻のアップサイクルに取り組んでいる。白えびの殻剥き作業を通じて、食材ロスの削減や地産地消に貢献している。
- 加工事業者の高齢化に伴う人手不足を補うことができ、生産性の向上につながった。

未来を耕す

- 水産業と福祉分野の連携により、障害のある方の社会参加が促進され、共生社会の実現につながっている。

取組

成果

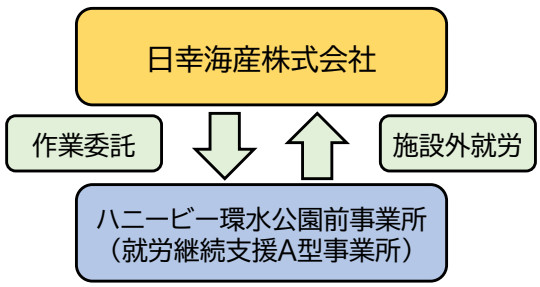
## 基本情報

設立:S59年/水福連携取組開始:R4年

概要

**主力商品**  
(水産加工品)白えび、ほたるいか加工品  
**主な作業内容**  
・白えびの殻むき  
・ほたるいかの目玉取り

体制図



住所:富山市岩瀬諏訪町76番地  
TEL:076-438-4518  
Mail:info@nikko-kaisan.co.jp  
URL:https://www.nikko-kaisan.com/

受け入れている者	
身体障害	○
精神障害 ※発達障害含む	○
知的障害	○
その他障害	○
生活困窮	
ひきこもり	
高齢者	
その他	

## 就労延べ人数

0人(R4当初)→  
3,717人(~R8.2計)

## 就労実人数

0人(R4当初)→  
24人(~R8.2計)

## 延べ日数

0日(R4当初)  
→679日(~R8.2計)

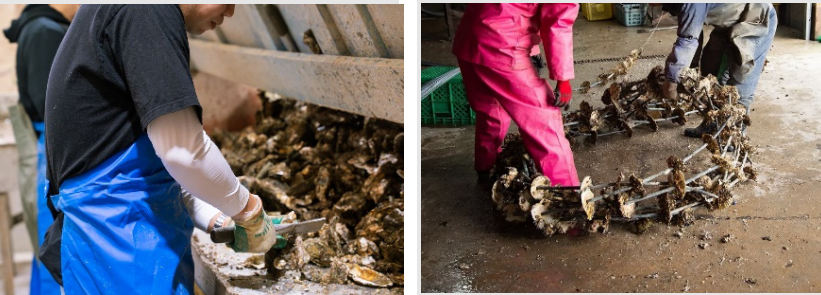
## 一般就労移行者数

0人(R4当初)  
→4人(~R8.2計)

- 当社の白えび及びほたるいか加工品は、国内外の飲食店やミシュランガイド掲載店などの有名店で広く使用されている。こうした形で富山県の水産業の振興・発展に貢献していることが、利用者の就労意欲や誇りの醸成につながっている。
- 加工技術の習熟度が、目に見えて客観的に把握できる仕組みにより、利用者の意欲向上及び社会参画の促進につながっている。
- 障害のある方と共に働くことで、社員全体にも助け合いや思いやりの雰囲気が一層醸成された。その結果、互いに支え合おうとする意識がさらに高まり、社内の心理的安全性が向上した。

# 有限会社山口水産及び就労継続支援B型事業所えもる(石川県七尾市)

「水福連携事業」として、能登かき養殖業を行う「山口水産」が、牡蠣養殖業務の一部を「えもる」に業務委託している。山口水産の従業員の負担軽減及び生産量拡大、事業所利用者の方々の働く場の提供を実現している。



## 基本情報

山口水産設立:S16年 えもる設立R1  
/水福連携取組開始:R1年

## 概要

### 主な作業内容

- 種繫ぎ(種牡蠣とポールをワイヤーに通す作業)
- 殻より(塊になった牡蠣をより分け、殻の表面の付着物を除去する作業)
- 漁礁製作(牡蠣殻をカゴに詰める作業)

## 体制図



(山口水産)住所:石川県七尾市中島町浜田ラ部26  
TEL:0767-66-0446  
(えもる)住所:石川県七尾市生駒町32番地1  
TEL:0767-57-5057

受け入れている者	
身体障害	<input type="checkbox"/>
精神障害 ※発達障害含む	<input type="checkbox"/>
知的障害	<input type="checkbox"/>
その他障害	<input type="checkbox"/>
生活困窮	<input type="checkbox"/>
ひきこもり	<input type="checkbox"/>
高齢者	<input type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>

## きっかけ

R1年

「山口水産」の取締役と、「えもる」の職員が、小中学校の同級生であり、牡蠣養殖の一部を業務委託することで、各々の課題である「従業員の確保」と「就業先の確保」を実現した。

## 取組

### 人を耕す

- 「えもる」は働く場所を探しており、牡蠣養殖作業の中で単純作業を担うこととなり、作業の品質・作業スピードもみるみる速くなり、「山口水産」の従業員と遜色ないレベルまでになった。委託費用は、成果物の量に対してであるため、委託費用も向上し、工賃アップにつながった。
- 「山口水産」の従業員は、周辺地域の人口減少により従業員の確保が厳しくなっていたが、「えもる」の利用者の方々ののおかげで、他の仕事に従事できるようになった。

### 地域を耕す

- 石川県七尾市の特産品である「能登かき」の養殖作業の一部を業務委託することによって、「山口水産」の生産性が向上し、特産品をより多くの人にお届けすることにつながった。
- 漁礁製作は、牡蠣殻をプラスチック製のかごに詰め、海に沈めることで、海藻を育み、魚の住みかとなるため、生物多様性にも貢献することができている。

### 未来を耕す

- 地域の多様な人材を活用することで、牡蠣養殖業の持続可能性が高まった。
- 水産業と福祉がつながることで、障がい者と共生できる地域社会の実現に繋がっている。

## 成果

就労延べ人数	就労実人数	延べ日数	—
0人(R1当初) →2940人(R1-R8計)	0人(R1) →20人(R1-R8計)	0日(R1) 980日(R1-R8計)	

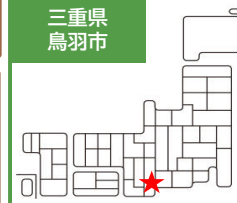
- 身体を動かす仕事であるため、利用者の健康増進につながっている。
- 成果物の品質が高く、作業スピードも速いため、山口水産の戦力となっている。
- 山口水産の軽作業の8割を「えもる」利用者に任せている。
- 当初は、種繫ぎ・殻よりのみの仕事を任せていたが、お互いのできることを把握できたため、牡蠣養殖のオフシーズンにも漁礁製作の仕事を依頼することができた。

# 株式会社アクアス 就労移行 就労継続支援B型事業所コラボ(三重県鳥羽市)

漁業関係者及び研究機関と連携し、カキ養殖用ロープの釘抜き、海藻の種苗生産作業などを実施。利用者が地域の基幹産業の一つである養殖業の工程に関与することで、地域とのつながり・働きがいを実感。

福祉事業所

三重県  
鳥羽市



## 基本情報

設立:H29年/水福連携取組開始:H30年

きっかけ

H30年

利用者の就労機会の創出をめざし取り組む中、以前から市内の社会福祉協議会と漁業関係者の間で行われていた水福連携に着目し、取組を開始。

人を耕す

- 県が実施する「水産業ジョブトレーナー」の育成研修を受講した職員による作業ごとの手順の検討、利用者の適性に合わせた作業選定・作業指導を実施。
- 職員が作業を一方向的に指導するだけでなく、以前から水産業に携わっていた障害者の経験を活かすことにより、利用者同士で教え合える環境を創出。

取組

地域を耕す

- 資材価格の高騰により、漁業者の中でカキ養殖用ロープを再利用する動きが広がっている中、ロープの釘抜き作業を受注することで漁業者の経費削減に寄与し、地域水産業の維持に貢献。
- R6年から医療従事者をめざす県内の大学生を受け入れて、利用者と一緒に水福連携の作業を行う作業体験会を実施。

未来を耕す

- カキ養殖用ロープ釘抜き作業に取り組む複数の福祉事業所の実情を取りまとめた上で、ジョブトレーナー自らが漁業者に必要経費等の実情を伝え、地域の作業単価向上に貢献。
- 県が実施する「水福連携コーディネーター」の育成研修を受講した職員を中心に、作業要望の多い養殖用ロープ作業を市外の福祉事業所にも働きかけることで、県内における水福連携を推進。

概要

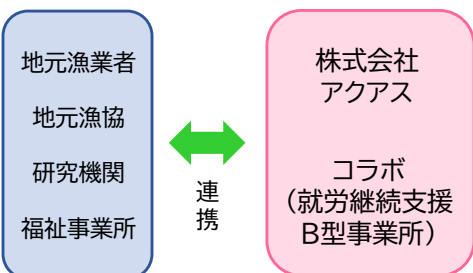
### 主な作業内容

- カキ養殖用ロープの釘抜き

### その他作業内容

- カキ天然採苗用コレクター作製
- 黒ノリの種苗生産に使うカキ殻並べ
- 黒ノリの品質検査 など

体制図



住所:三重県鳥羽市鳥羽5丁目10-1

TEL:0599-37-7175

Mail:info@aquas-inc.net

### 受け入れている者

身体障害	○
精神障害 ※発達障害含む	○
知的障害	○
その他障害	
生活困窮	
ひきこもり	
高齢者	○
その他	○

成果

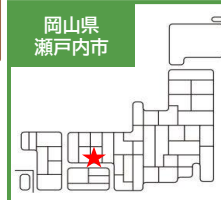
水福連携作業従事者数 (延べ人数)	釘抜き作業単価 (ロープ1本あたり)	釘抜き本数
7人(H30) →17人(R6)	21円(R2) →25円(R6)	7,350本(R2) →12,500本(R6)

- 地元漁業者との交流が増加したことにより、利用者地域とのつながる機会を創出。
- 複数の水福連携の作業を実施することで利用者の工賃が向上。
- 近隣の福祉事業所と連携することで、漁業関係者から大量に依頼される作業にも対応。
- カキ養殖用ロープ釘抜き作業については市内外で波及し、R7年3月末時点で鳥羽市を含む5市町の福祉事業所で作業を実施。

# 牛窓町漁業協同組合カキ養殖業者(岡山県瀬戸内市)

農林水産業経営体

岡山県  
瀬戸内市



手間のかかるカキの養殖用ロープの緩んだ「より」を戻す作業を、福祉事業所に依頼することで、養殖業者の負担が軽減されるとともに、水福連携の取組に参加する障害者の作業意欲も向上。



きっかけ

R6年

カキ養殖用のロープは本数が多く、より戻し作業は養殖業者の負担が大きかった。牛窓町漁協の養殖業者から農福連携サポートセンターが相談を受け、取組が開始された。

人を耕す

- 作業が丁寧に行われ、かつ、納品も早く、作業を依頼した養殖業者から高評価。
- 福祉事務所がカキ養殖業者の加工場を訪問し、ロープを回収、作業後に納品するため、養殖業者の負担が大幅に軽減。
- ロープを事業所に運んで作業するため、作業時間の調整が可能で、効率的かつ安全に作業できるほか、障害者が作業のやりかたを工夫するなど作業意欲の向上にもつながっている。

地域を耕す

- 養殖業者と福祉施設とのマッチングを行うに当たって、農福連携サポートセンターがカキ養殖業者の加工場で説明会を行うなど、地域水産業への理解を深めつつ、取組を進めた。
- 水福連携の取組が、カキ養殖業の労働力不足を解消することで、生産性が向上し、地域漁業の活性化に貢献。

取組

未来を耕す

- 水福連携が、カキ養殖業における労働力不足の有力な課題解決策となっている。
- 水産業と福祉のつながりが、障害者と共生できる社会の実現に向けた取組の一つとなっている。
- 新分野(水産業)の開拓が、福祉事業所の業務拡大につながっている。

## 基本情報

【実施主体】牛窓町漁業協同組合 設立:S40年 /水福連携取組開始:R7年  
 【依頼先(福祉事業所)】設立:多機能型事業所瀬戸内工房 H28(A型)・R1年(B型)、就労継続支援A型事業所RCF H21年、就労継続支援A型事業所ドリーム・プラネット H20年、就労継続支援B型事業所コノハ R3年、就労継続支援A型事業所ドリーム・プラネットあかいわ H27年、多機能型事業所いち・にのさん R1年/水福連携取組開始:いずれもR7年

### 主な作業内容

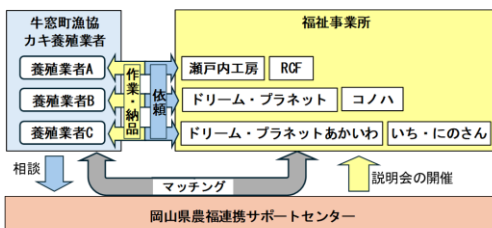
● 養殖に使用したロープのよりをインパクトドライバーで戻す。

### 特徴的な取組

● 岡山県農福連携サポートセンターが養殖業者の依頼を受けて、福祉事業所とのマッチングと現地での説明会を行い、水福連携の活動が開始された。

概要

体制図



### 受け入れている者

身体障害	○
精神障害 ※発達障害含む	○
知的障害	○
その他障害	○
生活困窮	
ひきこもり	
高齢者	
その他	○

成果

依頼を行った経営体数	就労延べ人数	延べ日数
牛窓町漁協カキ養殖業者	6事業所合計	6事業所合計
0経営体(R7当初) →3経営体(R7.2~5月)	0人(R7当初) → 691人(R7.2~5月)	0日(R7当初) → 396日(R7.2~5月)

- 岡山県農福連携サポートセンターが、牛窓町漁協のカキ養殖業者と福祉事業所を仲介したことで、当漁協のカキ養殖作業に、水福連携による新たな活動が円滑に導入された。
- カキ養殖業者の労働力不足が補われ、生産性が向上した。
- 障害者の活躍の場が少なかった水産業において、活躍の場が広がった。

【実施主体】牛窓町漁業協同組合:瀬戸内市牛窓町牛窓3909-1(0869-34-3065)  
 【依頼先(福祉事業所)】  
 瀬戸内工房:瀬戸内市色久町山田庄233-1 (0869-24-8177)  
 RCF:岡山市東区草ヶ部1346-1 (086-297-5864)  
 ドリーム・プラネット:岡山市東区草ヶ部惣利458-1 (086-239-4447)  
 コノハ:岡山市中区八幡145-1 (086-238-3391)  
 ドリーム・プラネットあかいわ:赤磐市東窪田89-3 (070-6528-4920)  
 いち・にのさん:岡山市中区平井6-7-28 (086-273-5090)

# 社会福祉法人こころ(宮崎県都城市)

地域水産業の加工工程(袋詰・瓶詰等)を担うことで、人手不足の緩和と産業維持に寄与。  
 自主事業と受託事業の組み合わせで安定的な事業運営を実現し、利用者の働きがいの向上と社会参加を実現。



きっかけ

H21年

現理事長が経営していた水産加工会社の業務を、障害者の働く場の創出を目的にNPO法人へ移行し、取組を開始。

人を耕す

- 鮮魚部門での業務経験かつ国家資格(介護福祉士)の保有者を2名配置し、営業・加工に関する専門知識と実務経験を活かした水福連携に取り組む。
- 常勤職員の約8割が国家資格を保有しており、専門性を活かした利用者本位の支援体制の充実を図っている。

地域を耕す

- 水福連携の実践モデルとして地域の福祉施設や学校関係者等の視察を受け入れ、障害者が水産加工に従事する現場を公開。
- 受託事業の拡大により売上が向上するとともに、水産加工工程の一部を担うことで、地域水産業における慢性的な人手不足の緩和に貢献。

未来を耕す

- 地域企業や学校等からの視察受け入れを継続し、水福連携の実践モデルとして地域内での理解促進を図るとともに、持続可能な取組として定着を目指す。
- 多段階の加工・包装工程を活かし、利用者一人ひとりの特性に応じた配置と段階的な技能習得を継続することで、安定した就労機会の確保と工賃向上を図る。

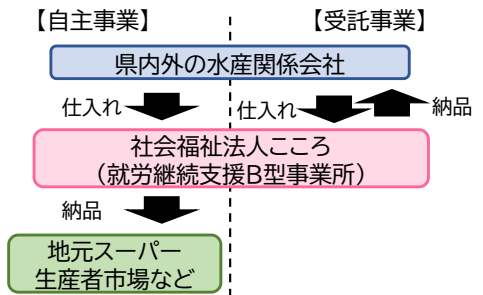
## 基本情報

設立: NPO法人こころ(前身) H21年  
 社会福祉法人こころ H27年  
 水福連携取組開始: H21年

概要

**主力商品**  
 (自主事業)サバの昆布巻、手作りさつま揚げ  
 (受託事業)干しエビ・ちりめん等の袋詰、塩辛等の瓶詰  
**特徴的な取組**  
 食品加工の衛生基準を学ぶことで、職業意識を醸成  
 緻密さが求められる工程で丁寧さや集中力を活かす

体制図



住所: 宮崎県都城市梅北町11848番地  
 TEL: 0986-36-5875  
 Mail: ny01250823@yahoo.co.jp  
 URL: www.kokoro-miyakonojo.com

受け入れている者	
身体障害	○
精神障害 ※発達障害含む	○
知的障害	○
その他障害	○
生活困窮	
ひきこもり	
高齢者	
その他	

成果

水福連携作業従事者数	受託作業加工数 (1月あたり)	自主事業加工品販売数 (1月あたり)	—
8名(R1) →10名(R7)	2386個(R5) →2581個(R7)	648個(R5) →836個(R6)	

- 事業所における水福連携作業従事者数の維持・拡大。
- 民間水産事業から福祉事業へと業務を移行した経緯を活かし、品質維持と確実な納品を両立することで受注の拡大を実現し、利用者工賃の向上と地域水産業の生産体制維持の双方に寄与。
- 自主事業と受託事業の組み合わせによる安定的な事業経営の実現により、利用者が地域産業の一翼を担うことで、働きがいの向上と社会参加を実現。